

「進路の手引発行にあたって」

校長 原 拓史

前橋南高校は群馬県のS A H (Student Agency Highschool) の指定を受けて、3年目となります。S A Hは「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す!」をキーワードとして掲げていますが、これは皆さんの進路実現にぴったり当てはまる言葉だと考えています。本校に在籍している全ての生徒が自分自身の進路決定をするときに必ず来ます。しかし、進路希望や個人の適正、一人ひとりの事情は皆異なります。進路実現は「誰かと一緒にする」ことは決してできません。そして、一度進路希望を決めたら、その目標達成に向かって全力で努力することが必要です。努力の方向、内容も一人ひとり全て異なります。まさに「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す」ことが重要となります。

また、最近「正解のない問題」という話題をよく耳にしますが、進路実現はまさに「正解がない問題」でもあります。自分が「納得できる」進路実現をできれば、それが正解であると言えるでしょう。ですから、安心して、自信を持って進路希望を決定し、その実現に向けて努力をしてほしいと思います。

進路希望を考えていくには、いくつか考えるべきポイントがあると思っています。

まず一つ目はこれからの社会に対して、見通しを持つことです。社会は常に変化を続けます。特に、これからは変化の激しい時代になると言われています。皆さんが将来、社会人として活躍する社会がどんなものになるのか、明確に知ることはできませんが、例えば新聞記事等を通して、意識し、自分自身の見通しを持つことは大切なことだと思います。

二つ目は進路先、大学や短大、専門学校、就職先等を知ることです。このとき、大切なことは、ある程度幅を持って進路先を知ることだと考えます。自分が考えている、進路先に近い領域ではどんなことが行われているのかまで知るようにしましょう。「全然、違うと思っていた領域が実はかなり近い内容を扱っていた」などということもよくあります。

三つ目は自分自身を知ることです。自分の夢は何なのか。自分の目標は何なのか。そして、自分はどんな方面に適性があるのか。これらのことは急に考えても分かりません。日頃の生活、学習の中で自身を振り返り、意識していくことが必要です。

四つ目は高校の基本的な学習内容を知ることです。皆さんが進路を実現させようとしたとき、武器になるのは高校の学習です。皆さんはこの武器を使いこなして進路に立ち向かうことになります。そのためには武器を知ること、つまり高校の基本的な学習内容を知ることが絶対に必要になります。よく言われることですが、日頃の学習が大切になります。

この、四つを考えながら、自分の進路目標を定め、自分で進路実現に向かう戦略を組み立てましょう。最初は誰かと同じ戦略でも良いと思います。進めていくうちに自然と自分独自の戦略を組み立てるようになるでしょう。

この、進路の手引きで、前半は皆さんが明確な進路目標を決め、それに向かう戦略を立てる一助となるよう、必要なデータが掲載されています。時間をかけてゆつくりと読んでほしいと思います。また、後半は先生と先輩方が進路決定を目指す皆さんに必要な学習方法とエールを送ってくれています。先輩方の文章は受験を終えたばかりの生の声が掲載されています。文章中そして行間からあふれる、先輩方の必死の努力を感じ取ってください。皆さんの健闘を期待します。